

富山県花と緑の祭典2023

置県140年記念・財団設立50周年記念

花と緑の大会

と き 令和5年10月24日(火)

ところ 富山県民会館

この町に
笑顔を咲かせる
花がすき



標語 小矢部市立大谷中学校 1年 近藤 珠貴
画 氷見市立南部中学校 3年 瀬戸 楓和

令和5年度 花と緑のコンクール 最優秀賞

公益財団法人 花と緑の銀行

富山県花と緑の祭典2023

置県140年記念・財団設立50周年記念

花と緑の大会次第

- I 開 会
- II 知事（名誉会長）あいさつ
- III 花と緑の功労者表彰 1～6
- 1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰
- 2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰
- IV 感謝状の贈呈 7
- V 花と緑のコンクール表彰
- 1 花と緑のポスター原画コンクール 8～10
- 2 花と緑の標語コンクール 11
- 3 富山県花のまちづくりコンクール
- (1) プレミアム花壇 12～13
- (2) 一般花壇 14～15
- (3) 花の道 16～17
- (4) 学校花壇 18～19
- (5) 幼稚園・保育所花壇 20
- VI 来賓祝辞
- 富山県議会議長
- 公益社団法人 とやま緑化推進機構理事長
- VII 来賓紹介
- VIII 「花と緑の宣言」 21
- IX 記念写真
- (休 憩)
- X 花と緑の講演会 22～23
- 演題 「花の流通・消費とフラワーデザインの魅力」
- 講師 Flower design atelier Quelle 主宰
- Flower designer 高木 優子 氏
- XI 閉会

※同時開催

- ・銀行活動の特別展示 ～50年のあゆみ～（1階ロビー）
- ・花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示（2階ホール前ロビー）
- ・スワッグ講習会：講師 高木 優子 氏
（10月25日(水) 9：30～11：30、県民会館302号室）

Ⅲ 花と緑の功労者表彰

1 富山県環境部門県土美化分野緑花功労表彰

いま い とし こ
今井 壽子（富山市）

平成23年に、NPO 法人花街道薬膳のまちを夢見る会を発足し、理事長として街中の緑化推進に努め、平成25年から現在に至るまでの長きにわたり、富山市緑化審議会委員を務めているほか、平成26年9月から平成27年3月の期間において、富山市緑の基本計画検討委員会委員を務めるなど、富山市全域の緑化活動の推進・普及に尽力している。

すぎもり かつ み
杉森 克實（富山市）

平成24年に大沢野花と緑の活動推進協議会の会長に就任し、活動拠点とする大久保地内の花壇や協議会で管理しているサルビア園を中心として、旧大沢野町全域にわたって積極的に緑化活動を推進しているほか、富山市花と緑の連合協議会副会長や（公財）花と緑の銀行理事を務め、市及び県全域の緑化推進に貢献している。

なかがわ しげ お
中川 重男（高岡市）

平成6年に泉が丘自治会花と緑の推進委員会の会長に就任し、地域活動を行うほか、おとぎの森公園解説ボランティアへの参加や、地元公園の桜や千保川沿いの桜などの維持管理に積極的に努めている。

と や ま し りつじんづうみどりしょうがっこう
富山市立神通碧小学校（富山市）

全校児童42人と小規模の学校ではあるが、細入地域の未来を担う子供たちの健全な成長や発達を願い、教職員はもちろん、地域の方とも協力して花壇活動を行っている。また、平成20年からほぼ毎年富山市花いっぱいコンクールへ応募しており、令和4年度においては学校部門で優秀賞を受賞している。

せんだん の はな みどり すいしんきょう ぎ かい
梅檀野花と緑の推進協議会（砺波市）

花壇の管理を会員で協力し、プラグ苗移植、水やり、草取り、施肥、防除等を実施し、緑化の普及活動に努めている。また地区内の花壇である、ひだまり花壇・中央花壇の2カ所、及び国道359号線交差点に12～13個の樽プランターを常設して、地区民及び通行者に観賞してもらっている。

2 公益財団法人花と緑の銀行理事長表彰

個人の部

ひ な た よしかず
日南田 義一（富山市）

平成18年に総曲輪地方銀行のグリーンキーパーに就任、平成24年からは頭取として、17年にわたり総曲輪レガートスクエア花壇や総曲輪公民館を中心に地域の緑化推進に貢献している。

まちなかの限られた花壇という地域事情を考慮した活動を長く続けているほか、平成25年からは城址公園沿いのフラワーハンギングバスケットのサポーターとしても活動している。

うえ だ
上田 クニコ（富山市）

平成6年に大久保地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来29年にわたり活動し、平成元年からは下大久保花の会の一員として BOOKS なかだ大沢野店駐車場花壇の管理を行っている。

また、サルビア園花壇の植栽や整備作業にも参加しており、大沢野地域の緑化推進にも貢献している。

いなぎ よしのぶ
稲垣 喜信（高岡市）

平成11年に横田地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成23年からは頭取として、24年の長きにわたり地域の緑化推進に貢献している。

活動拠点である横田地区には、国道沿いなど多くの人の目にふれる花壇が6カ所もあり、これらの花壇整備や維持管理業務に指導的な立場で積極的に取り組んでいる。

ひろ せ まさひで
廣瀬 昌秀（高岡市）

平成11年に横田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、24年の長きにわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である横田地区に6カ所ある花壇の維持管理に努めているほか、花苗配布などを通じて地域の緑化普及にも努めている。

さ なえ さ とし
早苗 佐利（高岡市）

平成15年に地域の緑化推進員並びに東五位地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点である東五位地区では、五位小学校周辺の花壇づくりに積極的に参加しているほか、地域に欠かせない相談役として植栽帯などの緑化整備・維持にも貢献している。

はぎわら のぶ お
萩原 信夫（射水市）

平成24年に水戸田地方銀行の頭取に就任すると同時に、大門なでしこ会（射水支店大門支所）に所属し、11年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

現在、大門なでしこ会副会長、射水支店理事を務めながら、市井コミュニティー花壇や水戸田モデル花壇などにおいて、指導とともに管理も実践している。

くぐえ きよひろ 久々江 清弘 (射水市)

平成20年に片口地方銀行の頭取に就任して以来、14年にわたり緑化指導者として地域の花と緑の推進に貢献している。

活動拠点の片口久々江花壇では、率先して整備・維持管理に取り組んでいるほか、平成31年からは新湊フラワー愛好会会長、令和3年からは射水支店副理事長としても貢献している。

おおにし つとむ 大西 勉 (射水市)

平成18年から町内会や老人会、環境保全会の役員を務めながら、平成23年からは黒河地方銀行グリーンキーパーに就任し、以来12年間地域の花と緑の推進に貢献している。

小杉花作り同好会（射水支店小杉支所）にも所属し、黒河地区のみならず、歌の森運動公園西側広場花壇でも積極的に活動を行っている。

よしだ あつこ 吉田 厚子 (射水市)

平成20年に大島地方銀行のグリーンキーパーに就任し、令和2年からは頭取並びに射水支店理事として、延べ15年にわたり大島地域の緑化活動を指導し、花と緑の推進に尽力している。

射水市役所に隣接し、多くの方の目を引くスマイルガーデンを活動の拠点としており、率先して植栽・管理を行っている。

なべしま しょういち 鍋島 正一 (魚津市)

平成19年に上野地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、16年にわたり上野方地区の緑化活動の中心的役割を担っている。

県道沿いの花壇の維持管理の責任者を務めながら、地区内の複数の花壇でも率先して維持管理に取り組み、また、寄せ植え教室の講師も務めるなど、地域の緑化推進に貢献している。

たかくら ひろこ 高倉 弘子 (魚津市)

平成14年に天神地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、21年にわたり天神地区の緑化活動の中心的役割を担っている。

活動拠点である青柳公民館花壇の植栽・維持管理に率先して取り組み、地域の花と緑の推進に貢献している。

くぼ まさこ 久保 正子 (氷見市)

平成20年に余川地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、15年にわたり上庄地区の緑化活動に携わり、市のコンクールやコンテナガーデンコンテストにも積極的に出展している。

活動拠点である旧余川小学校花壇の植栽・管理を行いながら、支店が実施する研修にも積極的に参加し、技術・地域の向上に努め、地域緑化活動の中心的な存在となっている。

たにはた こうせき 谷畑 孝石 (氷見市)

平成17年に上庄地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、18年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

定年退職後、富山県立小矢部園芸高校の専攻科に通い知識・技術の習得に努め、日頃の活動に活かしているほか、自宅で種から花苗を育てるなど、意欲的に活動を展開している。

で と つとむ 出戸 勉 (氷見市)

平成18年に上庄地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、17年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

地域の活動拠点である余川ふれあい花壇では、旧小学校花壇を地域の花壇として維持管理し、県や市の花壇コンクールに積極的に参加するなど、中心的役割を担っている。

ひらき ひろ こ 開 弘子 (黒部市)

平成21年に村椿地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、14年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

頭取補佐として活動し、地区への花苗や球根の配布を行うとともに、自身で育てた花を地区住民に提供するなど、緑化意識の啓発にも貢献している。

いいさと ひ な こ 飯里 比奈子 (黒部市)

平成22年に浦山地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、13年にわたり地域の花と緑の推進に貢献している。

浦山公民館をはじめ、浦山地区内に複数ある花壇の維持管理に率先して取り組み、地域を花と緑でいっぱいにする活動に尽力している。

た なか ひろよし 田中 廣義 (砺波市)

平成21年に梅檀野花と緑の推進協議会に入会、グリーンキーパーに就任し、平成24年から6年間は頭取として、その後はグリーンキーパーとして、14年にわたり活動している。

活動拠点であるひだまり花壇、中央花壇の整備・維持管理のほか、国道交差点にプランターを常設する活動に積極的に参加するなど、地域の緑化活動に貢献している。

げん ば ひろ こ 玄幡 弘子 (小矢部市)

平成8年に地区内有志で花と緑の友の会を結成し、平成21年までは代表も務めながら、平成10年から北蟹谷地方銀行のグリーンキーパーに就任し、25年の長きにわたり活動を続けている。

活動拠点である北蟹谷公民館の花壇づくりのほか、花苗を会員や一般に配布し、指導を行うなど、地区の中心的役割を担い花と緑の普及推進に尽力している。

は せ がわ いさ お 長谷川 勇夫 (小矢部市)

平成16年から地元有志による花壇づくりを始め、その後平成17年にはグリーンキーパーに就任し、以来、19年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

活動拠点である水島公民館、スポーツセンターの花壇の整備や維持管理について、活動班長として積極的に取り組み、まとめ役として緑化活動に尽力している。

は せ がわ ただいち 長谷川 忠一 (小矢部市)

平成16年から地元有志による花壇づくりを始め、その後平成17年にはグリーンキーパーに就任し、以来、19年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

水島公民館、スポーツセンターの花壇が活動拠点で、毎年花壇づくりから維持管理まで積極的に活動しながら、活動班長の責務も果たしている。

^{あだち}
安達 ^{きみこ}
喜美子 (小矢部市)

平成14年に石動地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、21年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

地元有志による三水会を立ち上げ、まとめ役となっているほか、花壇用のプラグ苗を自宅で育成するなど、中心的役割を担って花壇づくりに取り組んでいる。

^{たに}
谷 ^こ
かず子 (南砺市)

平成15年に西赤尾地方銀行のグリーンキーパーに就任し、平成24年からは上平支所長として、地域の緑化推進に19年にわたって貢献している。

五箇山上平 IC 前花壇や上平小学校前花壇などで趣向を凝らした花壇づくりに取り組んでいるほか、菅沼合掌集落の住民と協働して飾花するなど、緑化推進の普及活動にも尽力している。

^{つかもと}
塚本 ^{じゅんこ}
順子 (南砺市)

平成15年に南山田地方銀行のグリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり拠点となる JR 城端駅前花壇の整備、維持管理に積極的かつ丁寧に取り組んでいる。

地域で行われるひまわりプロジェクトに毎年参加するほか、南砺花と緑のフェスティバルにも城端支所のメンバーとしてミニ花壇を出展するなど、花と緑の普及推進にも取り組んでいる。

^{まつざき}
松崎 **みゆき** (南砺市)

平成15年に菟谷地方銀行グリーンキーパーに就任して以来、20年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

活動拠点である細野会館花壇において、整備や通年の維持管理に積極的に取り組んでいるほか、花と緑の銀行本店事業である花の種無料貸し出し事業にも積極的に協力している。

^{いとう}
伊藤 ^{しゅうじ}
修二 (南砺市)

平成12年に梅ヶ島フラワー街路の会に入会、平成16年からは西部地方銀行のグリーンキーパーに就任し、以来19年にわたり地域の緑化推進に貢献している。

平成24年からの9年間は同会代表となり、花壇活動が住民の交流の場となるよう、営農組合の活動などと組み合わせて地域活動の中に組み込み、継続できる取り組み方を確立した。

^{なかいわ}
中岩 ^{じゅんいち}
淳一 (立山町)

平成23年に東谷地方銀行の頭取に就任して以来、12年にわたり地域の花壇・プランターの維持管理など、地域の緑化推進に貢献している。

谷口公民館の館長を長く務めており、地域の中心的な存在として、地域住民と一緒に緑化活動に取り組み、花と緑の普及推進に尽力している。

団体の部

しもおおく ぼ はな かい 下大久保花の会（富山市）

平成元年に設立されて以来34年の長きにわたり、国道に面してバス停もある BOOKS なかだ大沢野店駐車場花壇を拠点として活動している。

市の花壇コンクールに積極的に参加しているほか、サルビア園花壇の花苗植栽やチューリップ球根の植え込みに協力するなど、大沢野地域の緑化推進にも貢献している。

ごうくちようすい まも かい 合口用水とビオトープを守る会（富山市）

平成23年の設立以来12年にわたり、花壇活動だけでなくビオトープの管理や桜の植樹など、地域の緑化促進に積極的に取り組んでいる。

県や市の花壇コンクールに積極的に参加し優秀な成績を収めているほか、ビオトープには地元小学生が生き物調査に訪れるなど、地域の学習、憩いの場として多くの住民に利用されている。

かみいし ぜ じ ち かい はな みどり いん かい 上石瀬自治会花と緑委員会（高岡市）

昭和61年の上石瀬公民館建設時から花苗の植栽を開始し、平成16年から現存の公民館横、上石瀬ふれあい花壇「植留花夢」の整備が始まった。

場所がら夏季ラジオ体操会場となっているほか、児童の自然観察の場、住民の憩いの場として利用され、また、住民総出の美化活動等を通じて三世代交流、地域活性化にも繋がっている。

ふし き えき まえ か だんどう こうかい 伏木駅前花壇同好会（高岡市）

平成14年伏木駅創設100周年記念事業として花壇整備され、これを機に地元3自治会（伏木駅前、新島、古国府中部）により伏木駅前花壇同好会を結成し、以来21年にわたり花壇の整備・維持管理のみならず、国宝勝興寺の玄関口として訪れる方々をお迎えするため、駅前広場全般の維持管理、環境美化活動に取り組んでいる。

はる み が おか じ ち かい 晴海ヶ丘自治会（魚津市）

平成12年に県の地すべり対策により施工された階段花壇枠を、自治会会員により整備し、維持管理を行っている。近隣の児童公園管理と合わせて自治会会員が管理し、花壇と共に車通行の心配のない住民の憩いの場となっている。

また、自治会内の住民が会員であることから、作業による連帯感も生まれている。

あおしま ち く りょつかすいしんきょう ぎ かい 青島地区緑化推進協議会（砺波市）

平成17年の設立以来18年にわたり、中央通りガーデン、ふれあい花街道の整備・維持管理を中心に地区内の緑化推進、活力ある地域づくりのため活動している。

地元自治振興会、グリーンキーパーを中心に各種団体や地域住民等の協力を得て活動しており、地域の連帯感の向上にも繋がっている。

Ⅳ 感謝状の贈呈

公益財団法人花と緑の銀行設立50周年記念感謝状

あさ い
浅井 ひとみ (射水市)

平成20年に全国花のまちづくりコンクールで大賞を受賞するなど、地域緑化の推進に努めた経験を活かし、当財団の理事として長きにわたり協力をいただいた。

たち むつ み
舘 睦美 (高岡市)

長年、当財団主催のステップアップ研修や新任頭取グリーンキーパー研修の講師を務めるとともに、花のまちづくりコンクールの審査員としても協力をいただいた。

こしたに
越谷 なつみ (高岡市)

長年、当財団主催の花のまちづくりコンクールやポスター原画コンクールの審査員として協力をいただいた。

おおたに ゆみ こ
大谷 弓子 (富山市)

当財団が中央植物園の指定管理者となった平成18年からの長きにわたり、事業評価委員会委員として、植物園利用者の立場から評価をいただいた。

わ だ なお や
和田 直也 (富山市)

当財団が主催する事業評価委員会委員として、植物学術研究者の立場から長年評価をいただいた。

いっばんしゃだんほうじん と やまけんりょっかぞうえん ど ぼくきょうかい
一般社団法人 富山県緑化造園土木協会 (富山市)

長年、協会役員に当財団主催の花のまちづくりコンクールの審査員やコンテナガーデンコンテストなどの審査委員長を務めていただいた。

また、新幹線おもてなし事業や全国植樹祭での飾花業務など、これまで前例のない特別な事業を協会として実施していただいた。

V 花と緑のコンクール表彰

1 花と緑のポスター原画コンクール

最優秀賞



氷見市立南部中学校 3 年
瀬戸 楓和



射水市立中太閤山小学校 3 年
蓮沼 佳帆



片山学園中学校 1 年
坂井 湖珀



黒部市立明峰中学校 3 年
北條 珠季

優良賞



砺波市立出町中学校 3 年
吉野 花奏



富山市立呉羽中学校 2 年
宮本 梨愛



富山市立大沢野中学校 1 年
片沢 麗愛



南砺市立吉江中学校 2 年
長澤 桔花



氷見市立比美乃江小学校 6 年
谷井 知歩



入善町立黒東小学校 3 年
朝倉 七海

総 評

今年は例年に比べ、長く続いた猛暑の影響でしょうか、応募数が多少減りましたが、意欲的でバラエティ豊かな作品が多く、花や緑に強い関心を持ち、花を愛する子供たちの熱いメッセージは作品を通して十分に伝わりました。

最優秀評

最優秀賞を受賞した氷見市立南部中学校 瀬戸楓和さんの作品は、雄大な空間の中での花束を贈る様子を鮮やかな色彩を効果的に組み合わせ、インパクトのある独自の世界を作り上げ、観る人を引きつける印象の強い作品となっています。
(審査委員長 米田 雪子)



佳 作



富山市立山室中部小学校 1 年
新木 亓來



射水市立大島小学校 1 年
中野 ひなた



氷見市立比美乃江小学校 1 年
御器 明莉



南砺市立井波小学校 1 年
高田 咲幸



富山市立藤ノ木小学校 2 年
月山 依菜



富山市立大沢野小学校 2 年
城岡 葉



富山市立鶴坂小学校 2 年
林 彩空



富山市立鶴坂小学校 2 年
山口 修生



富山市立光陽小学校 2 年
松野 仁美



氷見市立比美乃江小学校 2 年
伏喜 永花



滑川市立寺家小学校 3 年
朝野 凜



滑川市立西部小学校 3 年
砂原 夏菜



南砺市立福光中部小学校 3 年
有田 悠吾



富山市立藤ノ木小学校 4 年
大丸 蘭



射水市立大島小学校 4 年
末松 七星



高岡市立牧野小学校 4 年
伊東 真結



小矢部市立石動小学校 4 年
水島 優陽



高岡市立牧野小学校 5 年
安田 柚月



氷見市立比美乃江小学校 5 年
山本 望結



南砺市立福光中部小学校 5 年
岩崎 里帆子

佳 作



入善町立ひばり野小学校 6 年
大沼 蒼



黒部市立桜井小学校 6 年
松原 妃花



射水市立金山小学校 6 年
長谷川 未亜



高岡市立戸出東部小学校 6 年
宮川 凜



高岡市立国吉義務教育学校 6 年
荒谷 世吏



黒部市立明峰中学校 1 年
辻石 心乃李



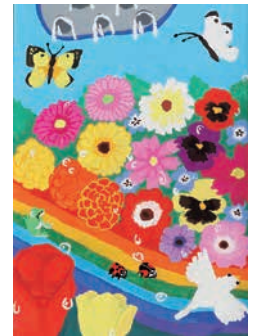
上市町立上市中学校 1 年
土肥 和夏



富山市立東部中学校 1 年
和泉 咲来



富山市立興南中学校 1 年
岡崎 実桜



富山市立興南中学校 1 年
尾下 恵麻



富山市立興南中学校 1 年
羽柴 紬



高岡市立南星中学校 1 年
加藤 柚七



砺波市立出町中学校 1 年
太田 彩心



片山学園中学校 1 年
今村 栞乃



富山市立岩瀬中学校 2 年
山口 美津紀



富山市立興南中学校 2 年
邑上 みのり



小矢部市立津沢中学校 3 年
高橋 悠太



富山県立富山北部高等学校 1 年
田畑 乃亜



富山第一高等学校 1 年
小久保 有花



富山第一高等学校 2 年
山本 桃々菜

2 花と緑の標語コンクール

最優秀賞

この町に 笑顔を咲かせる 花がすき

小矢部市立大谷中学校 1年 近藤 珠貴

優秀賞

みどりある ゆたかなくらしと みんなのえがお
あさはやく はなのみずやり えがおでとうこう
花だんには 地いきの思いが さきほこる

氷見市立上庄小学校 4年 上野 蒼翔
氷見市立西の杜学園 1年 寺田 茉生
氷見市立上庄小学校 5年 領毛 希

優良賞

花を植え 笑顔あふれる 町づくり
うちゅうから みえるといいな みどりのちきゅう
歩くみち くさばなたちが おどってる
きれいなくさばなこんにちは みんなわたしのおともだち
ゲームして そとのみどりに ほっとする
とどけよう 未来の人に 花と緑を

朝日町立さみさと小学校 6年 水島 羽雲
朝日町立さみさと小学校 6年 篠崎 蕾
氷見市立上庄小学校 2年 若林 亮佑
氷見市立上庄小学校 1年 小林 有希
朝日町立さみさと小学校 2年 扇谷 剛生
朝日町立さみさと小学校 6年 金森 晴紀

佳作

はなひらき みんなひろがる えがおのわ
花の前で マスクをとって においをかぐ
家の中 花をかざれば 明るいえ顔
あいのかぜ 花びらとぶよ ぼくのまち
チューリップ 色ちがいでも 仲良さそう
大自然 花がかがやく ふるさに
花たちが 校舎の前でおでむかえ 今日もいい日になりそうだ
花さいて 緑あふれる 豊かな町
新しく芽が出るとき 僕もいっしょに 心機一転
花見れば とがった心も 穏やかに
あの花が 僕を笑顔に してくれる
緑の道 笑顔とともに 未来へつづく

氷見市立上庄小学校 1年 稲積 桜
氷見市立湖南小学校 2年 桐 昊瑛依
氷見市立灘浦小学校 3年 大嶋 優愛
氷見市立西の杜学園 4年 坂木 真翔
入善町立飯野小学校 5年 藤井さくら
氷見市立湖南小学校 5年 岡野 桃也
朝日町立さみさと小学校 6年 唐津 七依
入善町立入善中学校 1年 笠原 蓮
入善町立入善中学校 2年 竹内 新
射水市立新湊南部中学校 2年 竹内 絵吏
小矢部市立大谷中学校 3年 青木 徠翔
小矢部市立大谷中学校 3年 小橋 聖那

総 評

日頃の生活の中から生まれた優れた作品が数多く寄せられました。小・中学生が身の回りの出来事を柔軟な発想で受け止め、ふさわしい言葉を選んで伝えることや、なめらかな言い回しを工夫することができたことに感心しました。これからも四季折々の花や緑の様子にこまやかな目を向け、感じる新鮮な驚きを大切にしていきましょう。いろいろな人やものの立場で考えるやさしい気持ちが育まれ、日々の生活が心豊かなものになっていきます。

最優秀賞評

最優秀賞を受賞した小矢部市立大谷中学校 近藤珠貴さんの作品は、分かりやすい言葉で花の持つ力を端的に表現しています。流れるような調子で、目で見ても声に出しても余韻が残ります。「花がすき」と言い切ることにより、自然のすばらしさを認め、それを守り育てていこうとする強い気持ちを多くの人に伝えることができました。

(審査委員長 山本 晶)



3 富山県花のまちづくりコンクール

(1) プレミアム花壇

最優秀賞



射水市 小杉花作り同好会

優秀賞



射水市 市井コミュニティー花壇



砺波市 五ヶみちグループ



南砺市 梅ヶ島フラワー街路の会



南砺市 北部花緑愛好会



富山市 寺崎 啓乃

【総 評】

審査は、7月26日に行いました。今年は、7月中旬以降、35℃前後の猛暑日が連日のように続きました。今までにない過酷な状況で栽培管理を続けている皆さんに、頭が下がる思いです。毎年続けることだけでもたいへんなご努力であると感じました。そのような状況でも対象の6花壇は、長年の経験による高い栽培技術により例年以上の出来栄でした。それぞれの花壇の立地条件、環境条件、参加人数などが異なる中、どの花壇も状況に合わせた花壇づくりを行っていました。栽培管理、デザインの差がほとんどない中で、地域の子供たちが参加できる取り組みが評価され、『小杉花作り同好会』がわずかな差で最優秀賞に選ばれました。『市井コミュニティ花壇』は、栽培管理、繊細な植栽デザインの挑戦において最も高い評価を得ました。『五ヶみちグループ』では朝から高温になるため朝夕の灌水を夕方だけにする新たな取り組み、『梅ヶ島フラワー街路の会』では、据え置き栽培ができる宿根草を増やし労力の軽減できるデザインの改良なども行われていました。『北部花緑愛好会』では、色彩理論に基づいた彩り豊かな花壇づくりを楽しみながら行っていました。『寺崎啓乃さん』は株分けした宿根草を毎年地域に還元しながら、花の輪を広げ続けていました。

今後は、高低差のある花木を利用し目線を手前から奥へと導き、富山の風景とつながる花のある景観づくりへの取り組みなども期待いたします。また高齢化、担い手不足の声が聞こえる中で、持続できる仕組み作りは地域任せではなく全体で考える課題であると思いました。



【最優秀賞評】

射水市の『小杉花作り同好会』が、昨年に引き続き最優秀賞を受賞しました。花壇は多くの人々が行きかう歌の森運動公園内にあり、地域の花のある景観づくりに成功していました。地域の幼稚園やフリースクールと連携し、ヒマワリの種ダンゴ作りから植栽まで行うとともに、子供たちの似顔絵を描いた看板を設置する等、参加型の取り組みが評価されました。

ヒマワリについては、子供の目線にあわせて100cm程度の矮性品種を選び、開花後も花壇を訪れて成長を楽しめるようになっていました。また昨年の秋に結実したヒマワリの種子を子供たちに持ち帰ってもらい、家庭で花壇づくりを楽しむことができるように活動の幅を広げていました。昨年はヒマワリの花壇を際立たせるために、高さを抑えた宿根草のグループ植栽となっていたましたが、今年の審査会ではマンネリ化を防ぐため、メインの花壇デザインとヒマワリの花壇とを一体化させるような工夫があると良いとの意見もありました。また、有毒植物であるイソトマは、子供たちが触れる場所に植栽するのを控えるなどの配慮が必要です。

花壇に植栽する植物は、その花のデザイン性や美しさだけでなく、毒のない植物、高温や乾燥に強い植物、さらに花壇から逸出して生態系に影響を及ぼさない植物を選ぶことなどを意識することが、これからの地域の花壇づくりに必要な課題となります。プレミアム花壇を参考にされる数多くの市民に対して、お勧めできる植物を選ぶ視点があると良いでしょう。

(審査委員長 渡邊 美保子)

〈令和5年度花と緑のコンクール審査員〉

○第49回花と緑の標語コンクール

山本 晶 立田ひろみ 高橋 幸博 木原 和夫 松井 伸彦 酒井 武史

○第51回花と緑のポスター原画コンクール

米田 雪子 広井 優子 越谷なつみ 高橋 幸博 木原 和夫 松井 伸彦 酒井 武史

○第50回富山県花のまちづくりコンクール

川原 俊昭 大井 巖 五十嵐俊子 兼本 正 舘 睦美 久恵 早苗 原田 智洋

中川 悦子 吉田めぐみ 渡邊美保子 中田 政司 十二町 薫 金岡 伸夫 石黒 哲也

石崎 弥佳 高田 敏充 高橋 一臣 山本 良孝 川崎 弘美 古崎 三夫 大原 隆明

松井 伸彦 酒井 武史 (順不同)

(2) 一般花壇

最優秀賞



砺波市 東野尻花と緑の推進協議会

優秀賞



南砺市 玉成花壇愛好会



小矢部市 北蟹谷花と緑の友の会



富山市 文京町公園愛護会



高岡市 高岡市立醍醐公民館
花と緑の推進部会



砺波市 般若緑花推進協議会



上市町 花と緑の銀行上市支店

優良賞

砺波市
梅 檀 野
花と緑の
推進協議会



射水市
浅井きらり
ガーデン



入善町
花と緑の銀行
入善支店
栢山地方銀行



黒部市
竹 山
ガーデン



奨励賞



南砺市 石黒花ドリーム会



高岡市 上石瀬自治会花と緑委員会



小矢部市 アサガオと花の公園づくり



氷見市 余川ふれあい花壇



富山市 合口用水とビオトープを守る会



立山町 花と緑の銀行立山支店大森地方銀行

【総 評】

審査は8月2日～4日の3日間行いました。記録的な豪雨や猛暑にもかかわらず、これまで以上に鮮やかに咲き揃った、みごとな花壇に出会うことが出来ました。また、50回目のコンクールにふさわしく、極めてレベルの高い激戦でした。そしてなにより、花壇を管理されている皆様の並々ならぬ熱意や技術の高さにとても感動しました。日頃の献身的な活動に対し、深く深く感謝申し上げます。

大雨の湿害を避けるため、花壇に傾斜を持たせて水はけを良くしたり、花壇の回りをグラウンドカバープランツで縁取りして土の流出を防いだり、花の生育を抑えぎみに管理して長く楽しんだり、秋に開催される地域の主要行事にも花壇を楽しんでもらえるように、花の種類を選びなおすなど、優れた知恵と工夫が随所で実践されていました。

ステップアップ研修で培われた管理技術がしっかりと定着し、おしゃれな色使いも含めて、花壇のレベルが格段に進歩していることや、花壇管理で出た植物残渣を完熟堆肥にして土づくりや株間のマルチに使うなど、SDGsに沿った取り組みも印象的でした。

頭取さんやグリーンキーパーさんが中心となり、さらに、自治会や老人会、児童クラブなどの力を結集した花壇づくりも見られ、地域の活性化に貢献する花のまちづくりの大切さを改めて感じさせていただきました。

なにより、これからの50年もとても楽しいコンクールでした。

【最優秀賞評】

最優秀賞を受賞した砺波市の『東野尻花と緑の推進協議会』の花壇の前に立った時、緑の元気さに感動しました。

堆肥や土壌改良資材による土作り、暑さに強い花の選択、きめ細かな切り戻しなど、管理技術の高さが強く感じられました。明るい色のグラウンドカバープランツが効果的に配置され、長く楽しめる爽やかな花壇に仕上がっていました。

水車小屋を背景に「四季に花咲くふれあい花壇」をテーマとしてデザインされ、落ち着いた色調ながら花々が鮮やかに咲き誇っていました。まさに、砺波地方の原風景を詩情豊かに表現されていました。

また、子供達が間近で花を楽しめるように通路を広めに取られ、花壇の中を自由に歩き回れる工夫がなされていました。また、その通路には白い小石が敷き詰められていて、花壇全体のデザインを際立たせる効果もありました。

(審査委員長 山本 良孝)



(3) 花の道

最優秀賞



小矢部市 野ぎくの会

優秀賞



富山市 新庄北小学校&地域団体



砺波市 高波花と緑の推進協議会



射水市 櫛田の里 Flower Road



富山市 大沢野上大久保地区
花いっぱいグループ

優良賞



高岡市 立野栄町花づくり会



高岡市 下伏間江地域環境保全委員会



砺波市 太田福寿会



南砺市 東太美心安らぐ花の道

努力賞



氷見市 柳田活性化推進協議会



【総 評】

審査は7月27日～28日に行いました。10か所の花の道は、地域条件：海沿いの砂地、田園、山里、商業・文教・住宅地、栽培規模：延長100m～400m、構成員：2人～地区総出——など、さまざまで、そして、なによりどの花の道も「花にも、お世話している方々からも、元気をいただける」花園でした。

皆さんの花の知識の豊富さ、コンテナならではの竹や睡蓮を配置した自由なデザイン、子供たちとの楽しそうなコラボレーション、花活動の地域内でのしっかりした根付き——などに感心しました。また、「高齢化ではなく、超高齢化の中で活動を行けるようにしてゆきたい」との思い・努力もお聞きし、「私、まだまだ、楽しんでやるが…」と説明いただいた85歳のグリーンキーパーさんに力をもらい、「花を愛してお世話され、花にも愛されているから、こんな素晴らしい花の道になるんだなあ」と痛感しました。

これからも、①自分らのために自らの楽しみとして花に関わっていただきたい、②地域総出で花苗を植えられている様相や広い花壇背後の傾斜地を草刈りしておられる姿、花壇で育った仏花をお供えされているお墓参りの方など、人の営みが浮かび、花と人の魅力がいっぱいのとやまの花の道をまた訪れたいと切に思いました。

【最優秀賞評】

小矢部市の『野ぎくの会』が最優秀賞を受賞しました。当地はおやベクロスランドタワー前に位置し、延長400m、広さ730㎡の県内でも最大規模の花の道です。

春の約12,000球のチューリップの萌芽に始まり、桜、夏花壇、秋花壇と、年間を通して花に親しめるようにと、会員の皆さん（37人）が自由な雰囲気大切にしながらお世話されています。

「今年は、コリウスが小ぶりで物足りない、立ち枯れも目立つ、マルチング資材を桜チップに変更したがいいまい」との自己評価でしたが、土壌改良資材のしっかりとした施用、大きなヒマワリを配置してのリズム感の醸成、シロタエギクによるクロスデザインなど、花に関わる豊富な知識・経験に裏打ちされた栽培技術やデザイン力、そして会員内でのしっかりした役割分担（耕起・畝たて・造成、植栽・デザイン、除草、水やりなど）により、魅力あふれる花の道を創出されていました。今では県内外からたくさんの来訪者があるとのことですが、花の道を訪れるついでにタワーやアウトレットに寄る方も、多いのではないのでしょうか…。

これからも、一年一年、試行錯誤、創意工夫をしながら、皆さんでガヤガヤ楽しみつ、花にふれ合う喜び・楽しさを地域内外の来訪者にお裾分けいただけるものと思いました。

（審査委員長 石黒 哲也）

(4) 学校花壇

最優秀賞



黒部市 石田小学校

優秀賞



高岡市 成美小学校



射水市 作道小学校



黒部市 若栗小学校



富山市 船峯小学校

優良賞



黒部市 中央小学校



射水市 塚原小学校



高岡市 南条小学校

奨励賞



入善町 飯野小学校



氷見市 湖南小学校

努力賞



砺波市 庄東小学校

【総 評】

審査は7月20日と21日に行いました。21日は梅雨明けとなりました。対象となった10の学校花壇では、子どもたちや教職員の熱意に支えられて、彩り豊かな花々が育っていました。

これまでの花壇の土に腐葉土などを入れて混ぜ込み、土壌の改良に積極的な取り組みが見られた学校があった一方、今年の局所的大雨で、排水で困ったインパチェンス等の生育に少し課題の残る学校もありました。苗ポットを切り開いていくつかを繋いで除草シートとして活用する学校があり、SDGsの取り組みであると感じました。

それぞれの学校では花壇のテーマが設けられており、子どもの笑顔等を表すもの、創校150年のお祝いとするもの、平和を願うものがありました。学校では、市や町などから支給された苗だけでなく、色や高さを考えて購入した苗も入れて、立体的な構成や色彩配置に工夫がありました。また、花壇作りの目標では、子供たちの学習に活かし、複数学年の活動の場として、協力性や花を育てる心があげられていました。ある学校では、子どもたちの心が育つことを目標とし、教科・総合的な学習等の時間を使い、異学年交流や委員会活動などで有効な取り組みが紹介されていました。花壇につけられた花の名前に目を留めて低学年も関心を示して花育てにかかわっていること、土耕し等に保護者やグリーンキーパーの方々の指導と支援を得て成果が挙げられているなど、学校花壇をめぐる豊かな人々の交流が生まれており、花壇づくりが子どもたちの心を育てる活動となっていることを感じました。

今後に期待することとして、数校のみに該当しますが、植物の生育状況を細かに観察しながら、灌水や手入れをすること、特に土の改良や花壇の排水を改善することを提案します。

【最優秀賞評】

「元気いっぱい！！キラキラ文焉花壇」を今年度のテーマにして取り組んだ『黒部市立石田小学校』が最優秀賞を受賞しました。

石田小学校は昨年も優秀賞に輝き、花壇の美しい伝統的な学校です。今年も6年生の花プロジェクトチームが中心になり、活動を一層向上させました。どの植物も生育状況が素晴らしかったです。校章の形の花壇の中央に太陽のように元気な子どもたちを、横には石田の海のデザインが目を引き、赤・黄のビタミンカラーの中央と、白紫の石田浜のさわやかな色合いが対照的でした。冬越ししたシロタエギクも各所に生かされ、グラウンドからの入口ゲートも見事でした。学校側の小池に植えられた蓮が丁度薄ピンクの美しい花弁を開いていました。色調や高低をうまく考えた花々が効果的にデザインされていました。植栽計画を見ると、気温と降水量をチェックするなど植物の育ちを細やかに観察しながら、灌水や施肥、摘花等の作業を位置付ける等、高い指導性が伺われました。

保護者と教職員、または地域のグリーンキーパー、公民館の方々の指導をいただきながら、各学年の子どもたちが力を合わせて出来あがった「元気いっぱい！！キラキラ文焉花壇」の生育は、まるで子たちが手を繋いで背伸びをしているようです。これからも学年を進めながら全校でかわる花壇の活動で多くの学びや発見があることを願っています。この花壇を地域の多くの方々に見ていただく機会をつくり、子どもたちと保護者や地域の方々のかわり合いが—
層豊かなものになるようにと期待いたします。

(審査委員長 五十嵐 俊子)



(5) 幼稚園・保育所花壇

最優秀賞



富山市 新庄保育所

優秀賞



富山市 老田保育所



射水市 小杉西部こども園

優良賞



富山市 西田地方保育園



射水市 金山保育園



氷見市 速川保育園

【総評】

各保育所（園）では、35℃を超える日が連日続き、「熱中症警戒アラート」が発せられる中での花への灌水等の栽培管理に大変苦勞されたことと思います。

どの保育所（園）も子供たちのためにはもちろん、園児の送迎の人々、公道に面した所を意識した花壇等、地域交流のある花壇づくりになっていました。その中で印象に残ったことを紹介します。

- ・ペットボトルや牛乳パック、球根運搬用のプラスチック製コンテナ等を再利用して花を育てる（新庄保育所、老田保育所、金山保育所）
- ・花壇やプランターで野菜を育てる（新庄保育園、西田地方保育所、小杉西部こども園）
- ・プラグ苗をポットに植え替え、園内のほとんどの花苗を育て、大きく育った花苗を地域の人々に配布した（速川保育園）
- ・タネだんごの作り方を地域の方に教わり一人一人のプランターに植えた（金山保育園）
- ・送迎の祖父母と一緒に苗を選び寄せ植えを行った（速川保育園）

日常の遊びの中で、多くの子どもたちが花や植物に親しみを持ち、ふれ合うことで、自然の大切さを感じるきっかけにもなり、一人一人が多くのことを学んでいるのだと感じました。

【最優秀賞評】

最優秀賞を受賞した富山市の『新庄保育所』は、富山地方鉄道東新庄駅近くにあり、地鉄電車をモチーフにプランターカバーを製作されていました。また、花々の中に動物の乗客や、ペットボトルを利用したハンギングを壁面に飾り公道を通る人々を楽しませていました。カレーライス畑と称し、人参、ジャガイモ、タマネギを育て、収穫の翌日の給食でカレーライスをみんなでおいしくいただいたことでした。バケツと畑で米作りに挑戦したり、ジャガイモやサトイモを袋栽培にして芋の付き方を観察したり、子供たちが毎日楽しみに登園したくなるような工夫にはすばらしいものがありました。

子供たちが自由に植物と触れ合い、アイデアを出し合い、夢いっぱいの空間が広がる花壇作りがなされていました。

（審査委員長 舘 睦美）



VIII 「花と緑の宣言」〈2023〉

ニーゼロニーサン



わたしたちは、この50周年の記念大会において、これまで引き継がれてきた全国でも先進的な「花と緑のまちづくり」運動を継承し、次のとおり取り組むことを宣言します。

- ①わたしたちは、家庭や地域において、自主的に花と緑の活動を進めます。
- ②わたしたちは、花や緑を守り育てる活動を通じて、相互に交流を促進し、愛着をもっていきいきと暮らせる地域づくりを目指します。
- ③わたしたちは、花と緑の普及啓発活動により、環境美化や植生の保全など、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に貢献します。
- ④わたしたちは、花と緑の活動を進めることで、一人ひとりが自分らしく、いきいきと生きる“幸せの実感”、ウェルビーイングの向上に努めます。
- ⑤わたしたちは、さらなる発展を目指し、活動を継続するとともに、次代を担う後継者を育て、活動の輪を広げていきます。

◆宣言者

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ・ 黒部市立石田小学校 6 年 | 目澤 美月（環境委員会委員長） |
| ・ 公益財団法人 花と緑の銀行理事 | 山田 政寛（南砺支店北山田地方銀行頭取） |
| ・ 公益財団法人 花と緑の銀行理事 | 松井 啓子（上市支店宮川地方銀行頭取） |

X 花と緑の講演会

「花の流通・消費とフラワーデザインの魅力」

Flower design atelier Quelle 主宰
Flower designer 高木 優子

1 フラワーデザイナーについて

・フラワーデザイナーについて

日本では、フラワーデザイナーという職業は周知されていますが、海外では〈flower designer〉では通じず、〈floral artist〉がフラワーデザイナーを表す言葉で、〈florist〉は花店で働く人を指します。

・フラワーデザイナーになったきっかけ

大学入学と同時に母親に勧められ、「花嫁修業」の一つとしてフラワーアレンジメント教室に通い始め、学ぶほどにお花の魅力にとりつかれ、会社員時代にはセミプロ的にブーケのオーダーを受注するようになり、ついには会社を辞めてフラワースクールを開校し、フラワーデザイナーとして活動し現在に至ります。

2 海外での活動について

・活動のきっかけ

海外のコンテストに出展し、優勝したことをきっかけに、海外からのオファーが入るようになりました。

・海外で活動するようになって気づいたこと

セミナーやデモンストレーションをするための花材リストを作る際、植物の英語名では通じる国に限られます。植物の学名でリストを作成することで、どの国の方とも情報共有ができ、花材発注の際の問題がありませんでした。

・日本人初、アメリカで最大のフラワーデザインコンテスト「フィラデルフィアフラワーショー」にエントリー（ハンギングデザイン部門 第2位受賞）

・フラワーデザインをアカデミックやビジネスとして、かたやカルチャーとしてという風に、国によりとらえ方や取り組む姿勢に違いがあり、特にアメリカとヨーロッパでは、かなりの違いを感じました。

・お花の世界も繋がっています。スコットランドのセミナーにはアメリカ、イタリア、ルーマニアから私のセミナーのためにわざわざ参加して下さった方もいらっしゃいました。

・ロシアではテレビの取材も受けました。



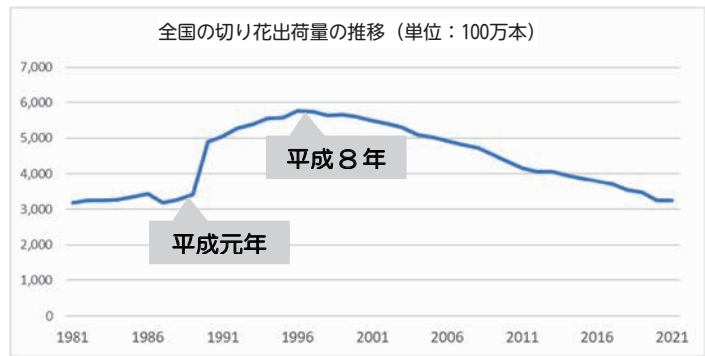
写真1 スコットランドにて



写真2 フランスにて

3 花の販売・流通状況について

- ・花の販売・流通状況について、切り花の出荷量でみると、昭和の終わり頃は横ばいで推移していましたが、平成に入って急激に増加し、1996年（平成8年）に57億本余りとピークを迎えました。
- ・その後は減少傾向にあり、2021年（令和3年）には、32.5億本となっています。



（出典：農林水産省 花き生産出荷統計）

- ・販売・流通の変化について
路面のお花屋さんなどがメジャーであった時代から、昨今ではスーパーやコンビニ、ネット通販にサブスクリプションなど、多岐に渡る販売の形態が登場し、消費者の購買域に多様性が生まれています。
- ・花の好みの変化、ユニセックス化
時代の流れと共に、男女の感性・感覚の違いが薄れ、ユニセックスな感性が今の花の市場にも良い影響をもたらしています。例えば、雑誌についても以前はお花の専門誌もしくは女性誌に取り上げられていましたが、最近では男性誌でも植物についての特集をしています。
また、男性が一人でフラワーショップにお買い物に来られる件数も増えていきます。

4 SNS・AIの普及

- ・SNSの普及により植物の投稿が増え、その流れにSNS上でのショップやスクールなどが登場しています。また、アプリで植物の名前などを検索できる便利なものもあります。

5 スワッグとガーランドについて

- ・クリスマスリースやスワッグ、ガーランドなどは、最近ではインテリアとして人気ですが、本来の起源はキリスト教の催事の際の装飾品でした。



写真3 スワッグ



写真4 リース



写真5 ガーランド

6 フラワーデザインの魅力について

- ・フラワーデザインの魅力とは「生きているもの」との会話です。
美しく生きる花々の、その形状や生育環境や特性などを考えながら自分の手でより美しい作品に作り上げる楽しさ、つまり植物の最後の命を最大限に魅力的に仕上げる作業が「フラワーデザイン」の魅力だと思います。
- ・お花は長い歴史の中でも文化として途絶えることの無いものです。
幸せな時にも悲しい時にも人の心の為に寄り添う存在であります。

◆ 令和 5 年度

富山県花と緑のコンクール入賞作品展

と き 令和 5 年12月12日(火)～12月25日(月)

ところ 富山県中央植物園 サンライトホール



はなぴー

◆ 令和 5 年度

花とみどり・ふれあいフェア

と き 令和 6 年 2 月17日(土)～ 2 月18日(日)

ところ 富山市婦中町 フューチャーシティ ファボーレ



令和 4 年度 花とみどり・ふれあいフェア



公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

花と緑の銀行だより 229号

～ 50周年記念 花と緑の大会 大会誌 ～
発行日 令和 5 年 (2023) 10月